



日本集中治療医学会
THE JAPANESE SOCIETY OF INTENSIVE CARE MEDICINE

Step beyond ECMO beginner

—呼吸ECMOの極意—

■開催日時

2023年3月3日(金) 8:00～9:00

■会場

第4会場

国立京都国際会館1階 アネックスホール2

本セミナーは整理券制ではございません。開催形態については学術集会HPをご確認ください。
<https://www.jsicm.org/meeting/jsicm50/>

座長

大下 慎一郎 先生

広島大学大学院 医系科学研究科
救急集中治療医学 准教授

演者

萩原 祥弘 先生

済生会宇都宮病院 救急・集中治療科
救命救急センター副センター長 (ICU)
集中治療室長・ECMO センター長

RADIOMETER 

共催：第50回 日本集中治療医学会学術集会 / ラジオメーター株式会社



Step beyond ECMO beginner

— 呼吸ECMOの極意 —

萩原 祥弘 先生

(済生会宇都宮病院 救急・集中治療科)



極論,呼吸ECMOにはbeginner's luckが存在する。そもそも導入はカニユレ2本と回路・機器があれば,“誰でも”始められてしまう。そして,『95%が平穏な“静”の時間』と言われるECMO runningを運良くトラブルなしで過ごし,無事離脱に漕ぎ着けることも大抵の場合は可能なことである。また,近年COVID-19パンデミックにより我が国におけるVV-ECMO症例は爆発的に増加した一方で,その特異的な病態により深鎮静・筋弛緩持続投与など画一的な管理法がテンプレとして普及してしまった感も否めない。そんな側面を持つ故に,ECMO管理における初学者と中級者との差は非常に曖昧であり,一定数以上かつ幅広い病態での経験値を積まないとlearning-curve(経験を積むほど成績が向上する)の実感が沸いてこないというジレンマがある。“ECMO回してLung-restにすればもう安心”なのではなく,『VV-ECMOの呼吸生理』をより実践に即した形で理解し身につけ,生理学に基づいた『ECMO-患者連関』を日々の臨床で応用することが“脱”初学者のための第一歩と言えるだろう。そのような背景の中で,本講演では職種問わずECMOの初学者～中級者を対象に,明日からの『One step上のECMO管理の習得』を目標に,世界標準の管理法から最新の知見に至るまで幅広く紹介をしていく。

Memo